

第24回通常総代会資料

日 時 令和8年6月8日（月）午後1時30分

場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷

東館2F 芙蓉の間

東京都新宿区市谷本村町4-1



全日本豊事業協同組合

第24回通常総代会式次第

1. 開 会

1. 物故組合員の方々へ黙祷

1. 理事長挨拶

1. 来賓挨拶

1. 功労者表彰

1. 議長団選出

1. 議 事

第1号議案 令和7年度事業報告承認の件

第2号議案 令和7年度決算報告承認の件

第3号議案 剰余金処分(案)承認の件(監査報告)

第4号議案 令和8年度事業計画(案)承認の件

第5号議案 令和8年度事業予算(案)承認の件

第6号議案 令和8年度賦課金徴収方法等(案)承認の件

第7号議案 令和8年度における手数料、使用料の最高限度額(案)承認の件

第8号議案 令和8年度組合借入金最高限度額(案)承認の件

第9号議案 役員報酬(案)承認の件

第10号議案 次期総代会開催地決定の件

1. 閉 会

令和7年度功労者表彰

(敬称略)

No.	支部名	氏名	No.	支部名	氏名
1	茨城	トミナガ シゲユキ 富永 重行	8	和歌山	ショウジ ナガオ 莊司 長男
2	新潟	イソガイ キョヒデ 磯貝 清英	9	広島	カミタニ タケン 上谷 武士
3	岐阜	マツイ ユキオ 松井 幸生	10	福岡	ミゾタ キョタカ 溝田 清隆
4	愛知	ヤマワキ マサハル 山脇 正治	11	宮崎	コゾノ カズアキ 小園 和明
5	三重	ヒラノ コウキ 平野 幸樹	12	鹿児島	ニノミヤ マナブ 二之宮 学
6	滋賀	ツジ イチゾウ 辻 市蔵	13	沖縄	トウバル エリヤ 桃原 恵理也
7	兵庫	オオガメ トオル 大亀 亨	合計		13名

令和7年度事業報告

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

I. 概況

円安と物価高、新聞やニュースでは毎日この話題に関する報道があったように見受けられます。昨年8月の大雨災害では、い草産地である八代市が甚大な被害を受けました。たみ振興議員連盟会長である金子先生、当時の林官房長官らが現地を視察され、議連幹事長の有村先生にもお力添えを頂きました。その後激甚災害に指定され、被災農家へ9割という手厚い補償が実現しました。何とか被害を最小限に留められ、い草産地が再スタートを切れたと思います。

しかしその影響もあり、熊本県産畳表の価格が高値で推移しています。当然、畳の価格に転嫁していかなくてはなりません。畳が減っている現況での値上げは、更なる畳離れにつながる懸念もあります。そして2月28日には、米国とイスラエルがイランへの軍事作戦「エピック・フューリー（壮絶な怒り）」を開始しました。油断大敵という言葉がありますが、その字の如く、油を断たれた世界経済が大きく揺らぐ状況に陥っています。これを受け、いち早く畳の芯材であるフォームメーカーが、40%という値上げを通告しました。

一方で、業界に取りまして喜ばしいニュースもありました。3月27日には改定された「住生活基本計画」が閣議決定され、「和の住まい」の推進や「伝統的な住文化」の再認識における担い手育成、伝統産業の振興・活性化の促進が記されました。具体的に自然素材として「畳」という文言が加わり、政府の後押しを頂いた形です。せっかくのこのバックグラウンドの中で、畳業界の振興につながる如何なるアクションを起こしていくか？これはまさに、我々畳業界全員が知恵を出し合って取り組まなければならない課題であります。

この数年、畳業界は極めて厳しい局面に直面しておりますが、組合事業は順調に、過去一番多く事業を展開することができました。内外で畳業界最大の組織団体「全日畳」という認識が、大きく膨らんだ一年でもありました。同時に背負う責任や期待は今まで以上に大きくなっており、組合員の理解と協力を頂いて組織をしっかりとサポートして頂くことが重要と考えております。

[事務局運営]

新しい事務局体制も3年が経過し、各支部に対する事務業務も円滑な対応ができました。

tataの集計作業は400件近い発表・発送業務等があり、畳総合保険の取り扱い件数は1000件を超えて煩雑ですが、みな迅速に対処できております。HP上の組合加入店のリストも、最新の情報を正確に反映しております。経済産業省認可団体として、各省庁への届け出や定款変更・登記なども期限内に迅速に完了しました。

[たたみ振興議員連盟]

昨年の衆議院議員選挙に於きまして、国会内のたたみ振興議員連盟への加入変動がありました。議連の馬場事務局長が中心となって加入議員の確認と再編作業を行って頂き、明日、議連総会を開催します。

ご承知の通り、たたみ振興議員連盟会長である金子先生が国土交通大臣に、幹事長の有村先生が自民党の総務会長に、それぞれ政府、与党の国益を担うお立場になられたことは、豊業界に取りましても心強い限りです。

[所管省庁]

有り難い事に、豊を所管する各省庁とは何度も面談や情報交換等を行わせて頂き、様々なイベントを実現することができました。

- 1) 経済産業省からは12月に東京ビッグサイトで行われたJapanBuildTokyoへの出展依頼を頂き、出展料免除で3日間新しい豊の可能性を多くのブース来場者に発信できました。また今後の豊の輸出に向けて、米国・英国・EU・台湾などの関税・検疫・HSコード等についてJETRO協力のもと調べた詳細な資料を頂きました。
- 2) 農林水産省からは6月10日と13日の両日、大阪・関西万博EXPOメッセ「WASSE」に於いて、いぐさコースターおよびミニ豊作りワークショップの開催委託を頂きました。猛暑の中でしたが、全国からPDメンバーを中心に人材を派遣し、無事イベントを行うことができました。
さらに全国い産業連携協議会の予算の中で、全日豊の提案案件を御承認頂き、500万円近い予算を頂いてSNSにおける縦型動画の制作を行いました。令和7年11月より順次Instagram等にアップロードした計46本の短編動画は、総再生回数は30万回を超え、特に対談動画では43000回の再生があり、その内95%がフォロワー以外の一般者で、5%が米国からのアクセスであったことがデータで判明しています。まさに豊をSNSで拡散PRするという本事業の趣旨を全うできたと思います。来期もまた、豊需要増加につながるインバウンド観光者に向けた豊PR事業を提案しているところです。
- 3) 国土交通省には「豊工事における労務費の基準の検討」におけるヒアリング団体に指名頂き、労務費の基準作成に関する職種別の意見交換会で発言させて頂きました。3月には国土交通省住宅局内に設置された、いぐさ豊ベンチの豊を製作させて頂きました。
- 4) 厚生労働省におきましては、技能検定における豊製作職種が、受検人数の減少により統廃合の検討対象となりました。人材開発統括官・能力評価担当参事官室検定官のご指導の下、変わらぬ検定開催への要望をさせて頂いた結果、パブリックコメントにも多くの「伝統的な豊の技術を存続するべきである」という一般意見も頂き、検討会より「続行」の答申を頂きました。しかしながら今後の受検者数増加に向け、三級技能士などの新たな技能検定受検者を増やす取り組みも考えて行かなくてはなりません。
- 5) また、4月29日には日本武道館に於きまして、内閣総理大臣を委員長とする

「昭和百年記念式典」が執り行われます。全日畳が畳業界で唯一、政府の公式行事に招待頂いたことは誠に名誉なことで、今まで行ってきた事業・活動が、畳業界を代表する組織・団体であると政府にご認識頂いているからこそと受け止めております。

[品質管理責任者セミナー]

5年毎の更新セミナーはありませんでしたが、新規に資格を取りたいという方が少しずつ増えてきました。4月には山梨県に於いて、遠方からも含め21名の方々が受講されました。今後は新畳のBL認定には本資格が必須条件となりますので、1事業所に必ず1名の品質管理責任者が常駐する必要があります。

一方、日本規格協会が行うJIS品質管理責任者セミナー専修科コース（9日間）は、1ヶ月毎に3日ずつ3ヶ月間にわたり延べ約60時間行われます。2026年度の受講料は税込¥136,400となっており、いかに全日畳の新規セミナー（わずか3日間¥55,000）が取得しやすいかがお分かり頂けると思います。

来期より4月の熊本を皮切りに、5年毎の更新セミナーが始まります。どうか全員の方々が更新されますようお願いいたします。今回は（一財）ベターリビングから講師を派遣して頂き、BL認定について理解を深めて頂きます。

またセミナー終了後に、約1時間弱全日畳の活動についてシェアする機会を設け、役員を派遣して組合活動についての説明や質疑応答なども行いました。

[BLベターリビング]

（一財）ベターリビングと行っております新畳のBL認定につきましては、6回の委員会が開催され毎回3名の委員を派遣しました。認定対象の素材種類や畳床製造事業所登録等について、またいかに認定制度を普及させるかについての議論を行っています。BL認定が実現すれば、規格が無い事を理由に新築現場に畳が採用されない問題等の大きな解決策になるはずです。

[PD]

4年前より活動を始めましたPD事業ですが、メンバーがSNSを運用し、一般消費者の方々に畳に関する情報を繰り返しお伝えしております。また毎月のWEB会議を重ね、9月24日畳の日には、千葉県のAEONモール幕張新都心にて体験型イベントを開催しました。当日はくまモンも応援に駆けつけ、千葉県畳業組合連合会には多大なる協力を頂き、自宅での畳需要拡大を目的に、ミニ畳・畳コースター作り体験、いぐさ消臭パック作り体験、畳縁詰め放題などを実施し、多くの来場者にご参加いただきました。

この実績をもとに、今後は全国各地のAEONモールに於いて各地区の組合員が同様のイベントを開催して頂けるよう、イベントのひな形としての普及を目指します。PDの活動内容はHPの会員ページで閲覧いただけます。

[tata事業]

今期12回目を迎えた昼販売促進キャンペーンtataは、今や全日昼に加入している大きなメリットの一つとして、組合員の皆様に認識頂いております。応募ハガキの回収率が直近数年間で最大となる、販売枚数の約50%に達しました。今後も工夫を凝らし、全国組織だからこそできる販売促進キャンペーンを展開していきたいと考えております。

[技能グランプリ]

2月に大阪で第33回技能グランプリが開催されました。技能グランプリの運営は、中央職業能力開発協会より全日昼に委託されております。前大会で頂いた出場選手選考についてのいくつかのフィードバックをもとに、スムーズかつ公平な出場選手選考が行われるよう中央職業能力開発協会に求め、一県一人という選考で24名を決定して頂きました。大会には役員・運営委員・競技委員・補佐員として計11名を派遣し、無事大会を終えることができました。その中には過去に同競技でグランプリに輝いた5名の方々を抜擢し、日本一の職人を決めるべく大会にふさわしい審査水準を設けることができました。

[広報事業]

今期は主に各省庁からお誘い頂きました案件、1)大阪・関西万博に於けるワークショップの開催、2)2日間の霞が関こどもデー、3)JapanBuildTokyoへの出展などを行いました。過去に例のないビッグイベントばかりでしたが、今後に向けて大変参考となる経験をさせて頂きました。

[渉外]

昨年度から八代地域農業協同組合様からの要望により、熊本県八代市で開催されます「い業大会」終了後に、「全日本昼事業協同組合特別賞」と冠した賞を出させて頂いておりましたが、今期より正式に「い業大会」式典の中で、3等として「全日本昼事業協同組合理事長賞」表彰をさせて頂くことになりました。表彰式にはプレゼンターとして石河理事長が出席しました。

[経理面]

決算におきましては、各予算案にほぼ沿う形で業務を遂行できました。何とかプラス決算にはなりましたが、今期行いました年会費3000円のアップがなければ、大幅なマイナス決算になっていたとも言えます。一方で、適正な対価を計上していない雇用の負担もあります。通常、事務長職をお願いする組合事業の経験者ですと、年間500万円は下らない給与が必要です。そうするとまた会費の改定にならざるを得ません。現在は無理を申し上げ、その半額ほどで事務長を含む2名の事務局運営をお願いしている状況です。

[事務所物件]

3月中旬、事務所の賃貸契約をしている現在のオーナーより、老朽化のため取り壊したいので8月末を目処に退去してもらいたい、という突然の通知がありました。2年間の更新契約を本年1月に終えたばかりで、当然弊組合には何ら落ち度のない状況での申し入れでしたので、本件については法律事務所に相談の上慎重に対処しております。いずれにしましても退去は必須ですので、組合事業に空白が生じないように、総代会終了後より本格的に移転に向けた準備を行います。

現在借りている事務所は約20坪、坪単価¥8,000という貸物件は都内では無いに等しく、今後家賃支出が約50%は増えると想定しています。前項の人件費等も含め、1,700名余の豊業界最大団体の拠点を東京に置くためには、現在の組合会費年額8,000円（月/667円）という設定が低すぎると考えざるを得ません。今後、健全で持続可能な組合運営を実現していくためには、少なくとも2年毎に会費の改定を検討するのが望ましいと考えています。

最後に、たたみ振興議員連盟を通じた国の行政や省庁との接点があり、豊業界最大の組織「全日豊」という存在は、今や名実ともに業界を代表する団体として認知されています。

II. 委員会報告

1. 総務委員会

(1) 組合員数及び出資口数

単位：人数・口数

摘要 出資 口数	前年度末数		期間中の異動				今年度末数	
			加入		脱会			
	組合員数	出資口数	組合員数	出資口数	組合員数	出資口数	組合員数	出資口数
1口	1,847	1,847	16	16	149	149	1,714	1,714
合計	1,847	1,847	16	16	149	149	1,714	1,714

(2) 会議

ア. 総代会

第23回通常総代会 令和7年6月9日

*ホテルグランドヒル市ヶ谷

イ. 理事会

臨時 令和7年5月7日 (WEB)

第1回 令和7年6月9日 *ホテルグランドヒル市ヶ谷

第2回 令和7年6月10日 *全日豊事務所

第3回 令和7年11月14日 *全日豊事務所

ウ. 幹事会等

令和7年4月11日 会計及び業務監査 *全日豊事務所

令和7年4月16日 役員推薦者会議 (WEB)

エ. 執行部・委員長会議 (場所：全日豊事務所)

第8回 令和7年5月13日・14日

- 第9回 令和7年6月8日 総代会準備等
- 第1回 令和7年7月8日・9日
- 第2回 令和7年8月29日・30日
- 第3回 令和7年9月25日
- 第4回 令和7年11月13日 理事会上程議案
- 第5回 令和8年3月12日・13日
- 第6回 令和8年3月31日

オ. 支部会議等

- 令和7年11月12日 関西ブロック会議・第94回京都昼技術競技会
* 京都パルスプラザ
- 令和8年2月6日 沖縄県昼工業組合50周年記念式典
* ノボテル那覇沖縄

カ. 事業委員会

①PD会議（WEB開催・19：00～21：00）

- 第1回 令和7年4月15日
- 第2回 令和7年5月12日
- 第3回 令和7年6月16日
- 第4回 令和7年7月14日
- 第5回 令和7年8月8日
- 第6回 令和7年9月8日
- 第7回 令和7年10月14日
- 第8回 令和7年11月10日
- 第9回 令和7年12月8日
- 第10回 令和8年1月13日
- 第11回 令和8年2月9日
- 第12回 令和8年3月9日

②イベント主催

- 令和7年9月24日 「8昼だヨ！全員集合」 * AEONモール幕張新都心
- 令和8年3月25日 （技能グランプリ出場者座談会）（WEB）

キ. 品質管理責任者セミナー

- 令和7年4月1日～3日 新規セミナー
* 山梨県人材開発センター（甲府市）

ク. 関連団体会議・行事出席等

①中央技能検定委員会

- 第1回 令和7年11月21日 * 中央職業能力開発協会（高田馬場）
- 第2回 令和8年1月23日 * 中央職業能力開発協会（高田馬場）

- 第3回 令和8年2月17日 *中央職業能力開発協会（高田馬場）
 第4回 令和8年3月11日 *中央職業能力開発協会（高田馬場）
- ②中央職業能力開発協会
 令和7年6月18日 第33回技能グランプリ合同委員会
 ※AP日本橋
 令和7年12月12日 第33回技能グランプリ資材確認
 ※千葉トナミ運輸
 令和8年2月26日～3月2日 第33回技能グランプリ
 ※インテックス大阪
- ③全国豊産業振興会
 令和7年5月28日 総会 *（株）カンベ京都本社
- ④豊でおもてなしプロジェクト実行委員会
 令和7年4月10日 幹事会 *大建工業（株）（秋葉原）
 令和7年7月4日 幹事会・全体会
 *大建工業（株）（秋葉原）
 令和7年7月25・26日 夏のワクワクキッズフェス in 日本橋
 *日本橋三井タワー・アトリウム
 令和7年9月19日 第67回建築士全国大会おおさか大会
 ※グランキューブ大阪
 令和8年1月13日 幹事会（WEB）
 令和8年2月10日 「和文化シンポジウム」 和文化・産業連携振興協議会
 *農林水産省
- ⑤（一社）日本豊産業協会
 令和7年6月13日 総会・懇親会 *ベイサイドホテル・アジュール竹芝
- ⑥八代産豊表認知向上需要拡大推進委員会
 令和7年6月13日 総会 *八代市役所
 令和8年3月27日 活動報告会議（書面）
- ⑦全国い産業連携協議会、熊本産地関連
 令和7年5月13日 八代市役所農業振興課より来所
 *全日豊事務所
 令和7年7月22日 総会 *JAやつしろ本所
 令和7年11月1日 SNS縦型動画発信プロジェクト開始
 令和8年2月12日 第51回熊本県い業大会
 *八代ホワイトパレス
 令和8年3月27日 豊ベンチ寄贈 *国土交通省
- ⑧たたみ振興議員連盟、省庁関連
 令和7年4月10日 建設業許可区分に関するヒアリング
 *国土交通省
 令和7年5月14日 経産省生活製品課より来所
 *全日豊事務所

- 令和7年6月3日 経済産業省 「第1回畳流通に関する意見交換」(WEB)
- 令和7年6月10日・13日 農林水産省委託いぐさ関係展示・ワークショップ
*大阪・関西万博政府出展ブースEXPOメッセ「WASSE」
- 令和7年7月3日 労務費の基準に関するヒアリング
*国土交通省
- 令和7年7月30日 経済産業省 「第2回畳流通に関する意見交換 (WEB)
- 令和7年8月6・7日 霞が関こどもデー
*経済産業省本館
- 令和7年9月29日 金子恭之衆議院議員と21世紀を考える会
*ANAインターコンチネンタル東京
- 令和7年10月31日 河野太郎衆議院議員と21世紀の日本を語る会
*東京プリンスホテル
- 令和7年11月20日 厚生労働省人材開発統括官能力評価担当参事官室上席職業
能力検定官来所「技能検定職種統廃合検討会について」
*全日畳事務所
- 令和7年12月5日 中野洋昌衆議院議員国政報告会
*ホテルニューオータニ
- 令和7年12月10日～12日 ジャパンビルド東京出展
※東京ビッグサイト
- 令和8年1月16日 厚生労働省
「第35回技能検定職種の統廃合等に関する検討会」(WEB)
- 令和8年1月22日 たたみ振興議員連盟役員表敬訪問
(金子恭之会長・有村治子幹事長)
*国土交通省大臣室・自民党本部総務会長室
- 令和8年3月10日 厚生労働省
「第36回技能検定職種の統廃合等に関する検討会」(WEB)
- 令和8年3月11日 有村治子参議院議員事務所訪問 (議連総会打合せ)
- 令和8年3月27日 国土交通省住宅局にいぐさ畳ベンチの製作・搬入
- ⑨ (一財) ベターリビング (飯田橋)
- 令和7年5月13日 第4回畳 (仮称) 基準検討WG会議
- 令和7年6月6日 合同懇親会 *グランドアーク半蔵門
- 令和7年7月8日 第5回畳 (仮称) 基準検討WG会議
- 令和7年9月4日 第6回畳 (仮称) 基準検討WG会議
- 令和7年11月13日 第7回畳 (仮称) 基準検討WG会議
- 令和8年1月22日 第8回畳 (仮称) 基準検討WG会議
- 令和8年3月12日 第9回畳 (仮称) 基準検討WG会議
- ⑩ 東京都足立ブランド認定選考委員会
- 令和7年8月21日 第1回 *足立区役所
- 令和7年10月29日 第2回 *現地調査
- 令和8年1月6日 第3回 (web)

⑪その他

令和7年6月1日	現代・和室の会総会	※旧安田楠雄邸(都内文京区)
令和7年7月10日	DAIKEN TryAngleフェア	※グランキューブ大阪
令和7年8月18日	tata2025準備	*滋賀県
令和7年8月28日	展示会「いま畳を語るとき」	※南青山スパイラル
令和7年9月12日	畳総合保険会社との契約内容に関する協議 (WEB)	
令和7年10月31日	畳総合保険契約更新	*全日畳事務所
令和7年12月5日	品質管理責任者セミナー開催打合せ	*全日畳事務所
令和8年1月21日	tata2025抽選会	*全日畳事務所
令和8年1月25日	なぜ、いま畳なのか?	*キャンパスプラザ京都
令和8年2月18日	日本経済新聞社取材	*全日畳事務所

(3) 一般事項

ア. 出資口数及び払込出資総額等の変更登記

令和7年7月24日 東京法務局 台東出張所

イ. 経済産業省 定款変更の認可

令和7年9月18日 (2025731製第7号)

(4) 特筆すべき事項

ア. たたみ振興議員連盟会長の金子恭之衆議院議員が国土交通大臣に就任

イ. 畳製作が技能検定職種の統廃合等に関する検討対象となる

ウ. 事務所ビルの老朽化・解体のため、8月末までに退去の要請あり

(5) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位：円

項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
資産合計	10,263,593	10,435,316	14,428,412
純資産合計	9,550,969	9,816,422	9,965,606
事業収益合計	8,548,704	9,529,921	18,510,007
当期純利益金額	39,547	296,816	1,382,702

2. 品質管理委員会

- (1) 今期より品質管理委員長を拝命し、一年間執行部役員の皆様と行動を共にさせていただきました。女性では初となる理事に任命して頂いたことを機に、何か新しい提案ができないものかを模索してきました。当初は組合事業の知識や経験が乏しく、各事業においては補助的な立場での関わりが中心となりましたが、現場に同行する中で、徐々に全日畳の取り組みについて理解を深めることができました。

(2) 品質管理責任者の新規セミナーを、4月に山梨県で開催することができました。このところ各地で新規取得希望者が増えていますので、県単位では難しくともブロック毎での開催を目指していきます。新規セミナーの最低催行人数は10名となっています。希望者がおられます支部は、その都度事務局にお知らせください。

(3) 従来より品質表示ラベルの貼付推進に取り組んでまいりましたが、なかなか組合員全体への浸透には至っておりません。今後は貼付の意義をより明確に伝え、多くの組合員様にご理解とご協力をお願いしていきたくと思います。

また来期より更新が始まる品質管理責任者セミナーに向けて、小高講師をお招きして講習内容や時間配分、BL認定制度に関する説明の整理など、開催準備を進めてきました。

これまでは昼店によって諸経費請求の有無・内訳が明確ではなく、昼単価×枚数価格での算出をされる店が圧倒的に多く、現在増加している数枚程度の現場においては、経費を請求しなければ仕事にならないケースが多く発生しています。経費請求の標準化は業界全体の底上げに不可欠です。今回の更新セミナーでは、現在の昼業商取引における経費請求について、一定のガイドラインを提示させていただきます。この度作成した新様式の「ご注文確認書・お見積書」は、これまで請求していなかった諸経費が、細かな区分で明確に請求できるよう対応した書式となっています。

品質管理責任者資格制度は今後のBL認定の必須資格となっており、来期に向けての重点事業として位置付けております。

3. 事業委員会

組合員の皆様の事業発展ならびに組織力の強化を目的として、各種事業の推進に取り組んでまいりました。PD (Planning Department) は第3期17名体制のもと、新たな施策の導入および戦略の立案を行うとともに、メンバー相互の連携強化を図り、より実効性の高い事業運営と組織活動の推進に努めてまいりました。

(1) 保険事業

昼総合保険

本保険は多くの組合員の皆様にご支持をいただき、本年度は1,105名の方々にご加入いただいております。手頃な保険料でありながら充実した補償内容を備え、組合員の皆様に安心と安全を提供する重要な事業として定着しております。一方で高額な保険金請求も数件あり、保険会社よりいくつかの見直しを求められました。一部内容の改訂につきましては、皆様のご理解をお願いいたします。

(2) 販売促進事業

全国昼替えキャンペーン「tata (タタ) 2025」

本キャンペーンは9月22日から11月30日までの70日間にわたり実施いたしました。組合員の皆様のご協賛により、ハガキ販売総数は11,044枚、有効応募数は5,663枚となりました。賞品総額は316万円、当選総数は380本で、内訳は1等10万円分旅行券10名、2等2万5千円相当のアラジントースター20名、3等1万円分商品券50名、4等5千円相当のゴリラのひとつかみ100名、5等3,300円相当のシャボン玉ギフトセット200名でした。また今回は、1等に当選されたお客様の畳を施工された畳店様10名にも1万円分商品券を進呈いたしました。抽選会にはモデルの浅野様にもゲスト参加をいただき、盛況のうちに終了いたしました。事業単体としては若干のマイナス決算となりましたが、全国的なキャンペーンを行う意義は大きいと考えております。

(3) 共同購買事業

ア. 抗カビ軟化剤NKB193ノーカービー

NKB193ノーカービーは、高い抗カビ効果と畳表の折り曲げ作業を容易にする特長を有しており、例年安定した受注をいただいております。また、一般向け300mlタイプについても、扱いやすい容量として好評をいただいております。

イ. 畳のお手入れハンドブック

本ハンドブックは、納品時にお客様へお渡しいただくことで、畳に関する疑問を「畳相談」へとつなげる役割を担う重要なツールです。本年度も多くのご購入をいただき、組合員の皆様から高い評価をいただきました。正しいメンテナンス方法の周知を通じて、お客様満足度の向上にも寄与しております。

(4) 広報事業

ア. 全日畳ホームページ・SNS・LINE公式アカウント

全日畳ホームページでは、一般消費者への情報発信に加え、組合員向け会員情報の更新も随時行っております。セミナーやイベント案内については、ホームページに加えSNSおよびLINE公式アカウントでも発信し、畳業界の最新情報や有益な情報の発信に努めてまいりました。

イ. SNS活用による畳需要の振興企画

本事業は、全国い産業連携協議会の協力のもと、縮小傾向にある畳需要の再興を図るとともに、次世代への畳文化の継承および海外における認知拡大を目的として実施いたしました。取り組みにおいてはSNSを活用し、視覚的訴求力の高いコンテンツを中心とした情報発信を行い、若年層や子育て世代、さらには海外ユーザーを含む幅広い層に対して、畳の魅力と価値の発信に努めました。これにより将来的な需要創出および産業振興に向けた基盤整備を推進いたしました。

本プロジェクトにおけるInstagram運用の実績は以下のとおりです。(3月末現在)

- ・フィード投稿：1本
- ・リール投稿：45本

- ・総再生数：301,173回
- ・平均再生数：約6,500回
- ・最大再生数：約42,000回
- ・フォロワー増加数：463名（4/9現在フォロワー数979名）

以上のとおり、本事業により一定の成果を得ることができました。今後も継続的な情報発信の強化を図るとともに、需要喚起および畳業界のさらなる活性化に努めてまいります。

ウ. 他団体イベントへの参加

6月10日・13日の大阪・関西万博、7月25日・26日の日本橋三井タワー「夏のワクワクキッズフェス2025」、8月6日・7日の経済産業省本館「霞が関こどもデー」、9月19日のグランキューブ大阪「建築士会全国大会おおさか大会」、12月10日から3日間行われた東京ビッグサイト「JAPAN BUILD TOKYO」に参加・出展し、ミニ畳作りや畳コースター作り体験、新たな可能性を秘めた畳展示を通じて、国内外ならびに建築・不動産業界へ向けた畳のPR活動を積極的に展開いたしました。

(5) PD活動

3期目1年度を迎えたPDは17名の下記メンバーで活動しました。

PDの主な活動は、一般消費者に向け近年多様化する「畳」の在り方を踏まえた、畳に関しての効果的な発信やイベントを企画すること、および加入組合員に向けたこれからの時代に必要な技術の提供や情報発信を行うことです。

多様な立場・経歴のメンバーが、それぞれの知見から様々なアイデアを持ち寄り企画をしています。

PDメンバー一覧

青森県：(有)高森畳工店	高森 えりか
山形県：畳屋清兵衛	矢作 伸寿
山形県：ムラタ畳店	村田 直樹
宮城県：艸々庵	佐々木 崇
宮城県：(有)只見工業所	只見 優
千葉県：畳伸岩瀬畳店	岩瀬伸之介
神奈川県：(有)加藤畳店	加藤智与志
山梨県：(有)権正畳店	権正 哲夫
山梨県：まつき畳店	松木 高丸
愛知県：乗本畳店	乗本 知尚
岐阜県：(株)三宅畳店	三宅 悠介
奈良県：たなか畳店	久保田貴勇
奈良県：藤本畳店	藤本 憲太

大阪府：寿町 前本畳店	前本 康宏
兵庫県：(株)大亀	大亀 亨
山口県：中村畳表店	中村 一正
沖縄県：(株)大山タタミ店	大山 竜児
全日畳：事業委員長	的場 貴之
全日畳：専務理事	大平 雅章
全日畳：理事長	石河 恒夫

・ イベントの開催

9月24日の畳の日には、イオンモール幕張新都心にて体験型イベントを開催し、畳に触れていただく機会を創出いたしました。自宅での畳需要拡大を目的に、ミニ畳・畳コースター作り体験、いぐさ消臭パック作り体験、畳縁詰め放題などを実施し、多くの来場者にご参加いただきました。当日はくまモンも応援に駆けつけ、会場を大いに盛り上げていただきました。ご協力を賜りました全国畳産業振興会様、NPO畳文化保存会様、熊本県い産業生産販売振興協会様、DAIKEN様、千葉県畳業組合連合会様に厚く御礼申し上げます。

・ 全日畳公式Instagram・フェイスブックの定期更新

昨年10月までPDメンバーにより毎月1回の投稿を継続し、情報発信を行ってまいりました。また、11月から3月末までの期間については、より効果的な情報発信を図るため、株式会社バトラー様にアカウント運営を委託しました。

各メンバーも都度記事のシェアなどを行い、周知拡散しています。組合員の皆さんの拡散も増え、周知を進めることができました。

・ 技能グランプリメダリストのトークセッション

3月25日に開催した「技能グランプリ座談会」には39名が参加し、技能グランプリメダリストによるトークセッションを行いました。質疑も多く、充実したトークセッションとなりました。

・ 月例会議・リアルミーティングの実施

毎月会議を行い、それぞれの企画をブラッシュアップ、新たに立ち上げることを行ってきました。各会議の議事録はHPでご確認ください。

4. 技能推進委員会

3年前より畳製作技能検定の受検者が年間100名を下回り、令和6年度は39名と激減しました。厚生労働省の規定により、検定の開催が隔年となる可能性も出ています。技術革新に伴う新素材の開発により出現した畳製作も重要ではありますが、1300年近く継承されてきた畳文化の根底を成す製作技術は、国家検定に位

置付けされています。現在進行中の新たなBL認定の畳基準におきましても、技能士資格者の製作する畳であることが前提となります。

(1) 技能継承

畳文化が見直されつつある昨今、3月27日に閣議決定された国土交通省「住生活基本計画」の中では、国民の住生活リテラシーの向上推進に当たっては、畳・襖・瓦・土壁・漆喰をはじめとする地域の自然素材を活用し、気候・風土・文化に根差した「和の住まい」など、失われつつある伝統的な住文化の良さや技能の継承に向けた担い手育成の必要性について、再認識することができる機会を創出する必要がある、と明記されました。畳文化を語る前に、作り手としてしっかりとした「知識」「技能」を身に着けることが大切であると考え、技能検定受験者の指導育成に取り組んできました。技能検定も受験者減による毎年開催が危ぶまれる中、厚生労働省担当官とも面接を行い、その重要性を伝え、隔年開催等は見送られる事となりました。製作機会が減ったとは言え、手仕事で作る板入れ畳などのDVDは、引き続き販売を行っております。

(2) 中央技能検定委員会

畳製作一級・二級技能検定の学科試験問題を作成する中央技能検定委員会が、4回開催されました。全日畳からは5名の委員を派遣し、委員の委嘱任期は令和9年3月までとなっております。

(3) 技能グランプリ

2月27日～3月2日の日程で、大阪府のインテックス大阪で開催されました第33回技能グランプリ「畳製作」部門の運営を行いました。全国より出場された24名の選手の課題製作作品を競技委員が厳正に審査し、事故なく技能グランプリ運営業務を遂行しました。

(4) 技能士の資質向上教材（技能教本の発刊）

板入り畳の製作工程を詳しく解説する技能教本は、撮影も終了し、原稿の校正が進んでおります。充実した内容となるよう、委員会で協議を重ねております。

第2号議案

財 産 目 録

令和8年3月31日

資産の部

(単位：円)

科 目	内 訳	金 額
I 流動資産		
現金		15,603
預金		
普通預金	りそな銀行・上野支店	2,390,212
普通預金	りそな銀行・上野支店	3,700,244
振替預金	秋葉原店UDX内ゆうちょ銀行	699,599
積立預金	りそな銀行・上野支店	850,442
売掛金	資料7に記載	128,141
棚卸商品	資料8に記載	1,699,425
未収組合費		
未収入金		
前払費用		
流動資産合計		9,483,666
II 固定資産		
電話加入権		117,800
差入保証金	岩上ビル賃借保証金	500,000
固定資産合計		617,800
資産合計		10,101,466

負債の部

科 目	内 訳	金 額
買掛金		
未払金	JCB (タイムレコーダー、ノートPC、プロジェクター 他)	273,518
未払持分	2,000×脱会者149名	298,000
預り金		
預り保険料		
前受金	令和8年度新規会員出資金1名分(福岡)	2,000
未払法人税等		124,200
長期借入金		
負債合計		697,718

正味資産の部

出資金	2,000×1,714名	3,428,000
利益準備金		956,000
特別積立金		956,000
教育情報積立金		
当期純利益金		120,779
前期繰越剰余金		3,942,969
純資産合計		9,403,748
負債・純資産合計		10,101,466

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
現 金	15,603	買 掛 金	
預 金	7,640,497	未 払 金	273,518
売 掛 金	128,141	未 払 持 分	298,000
棚 卸 資 産	1,699,425	預 り 金 職 員 他	
未 収 入 金		預 り 金 保 険 料	
前 払 費 用		前 受 金	2,000
		未 払 法 人 税 等	124,200
		長 期 借 入 金	
流 動 資 産 合 計	9,483,666	負 債 合 計	697,718
II 固 定 資 産		純 資 産 の 部	
電 話 加 入 権	117,800	出 資 金	3,428,000
保 証 金	500,000	利 益 準 備 金	956,000
		特 別 積 立 金	956,000
		教 育 情 報 積 立 金	
		当 期 純 利 益 金	120,779
		前 期 繰 越 剰 余 金	3,942,969
固 定 資 産 合 計	617,800	純 資 産 合 計	9,403,748
資 産 合 計	10,101,466	負 債 ・ 純 資 産 合 計	10,101,466

損 益 計 算 書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

(単位：円)

費 用 の 部	収 入 の 部
I 事業費 品質表示事業費 300,487 品質認定事業費 574,310 教育情報事業費 1,220,172 共同購買事業費 755,391 広報事業費 1,003,295 豊販促事業費 3,296,516 P D 事業費 748,935 事業費合計 7,899,106	I 事業収益 品質表示事業収入 814,621 品質認定事業収入 760,557 教育情報事業収入 1,236,668 保険手数料収入 790,176 共同購買事業収入 1,339,887 豊販促事業収入 3,059,360 事業収益合計 8,001,269
II 一般管理費 役員報酬 2,409,000 雑給 2,455,800 法定福利費 129,338 福利厚生費 121,382 会議費 654,982 関係団体負担金 380,000 旅費交通費 3,976,810 通信費 497,052 器具備品費 457,472 印刷費 216,408 交際費 99,800 支払地代家賃 1,705,000 水道光熱費 251,815 租税公課 44,200 荷造運賃 297,646 広告宣伝費 55,000 支払手数料 3,438,128 事務用品費 695,601 雑費 153,665 一般管理費合計 18,039,099	II 賦課金収入 組合費収入 14,904,000 賦課金収入 1,380,000 特別賦課金収入 870,000 賦課金収入合計 17,154,000 III 事業外収益 受取利息 17,598 雑収入 1,003,317 教育情報繰越戻入 2,000 事業外収入合計 1,022,915
III 事業外費用 支払利息 雑損失 事業外費用合計 0	
IV 特別損益 税引前当期純利益金 (239,979) 法人税等 119,200 当期純利益金 120,779	
合 計	合 計
26,178,184	26,178,184

第3号議案

剰余金処分(案)

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

I	当期未処分剰余金		
	当期純利益金	120,779	
	前期繰越剰余金	<u>3,942,969</u>	4,063,748
II	剰 余 処 分		
	利益準備金	13,000	
	特別積立金	13,000	
	教育情報繰越金	<u>6,500</u>	<u>32,500</u>
III	次期繰越剰余金		<u>4,031,248</u>

監査報告書

中小企業等協同組合法第40条第5項により、組合から受領した令和7年度財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案（損失処理案）及び事業報告書を監査した。

1. 監査方法の概要

決算関係書類及び事業報告書の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取、理事会議事録の閲覧、重要な事業の経過報告の聴取その他通常取るべき必要な方法を用いて調査した。


2. 監査結果の意見

- (1) 財産目録、貸借対照表、損益計算書は、組合の財産及び損益の状況のすべての重要な点において適正に表示している。
- (2) 剰余金処分案は、法令および定款に適合している。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い組合の状況を正しく示している。

令和8年4月15日

全日本畳事業協同組合

監 事 鈴木卓夫 

監 事 谷口秀雄 

監 事 富山 晃 

員外監事 四方 茂 

令和8年度事業計画(案)

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

I. 事業方針

私たち畳業界は、住宅様式の変化による和室離れの進行という課題に直面しています。こうした状況の中にあっても、畳は日本の伝統文化を支える重要な要素であると同時に、海外からの畳の評価と需要は増大しています。

前期は行政との連携強化や販売促進事業の推進、SNSでの広報活動の展開など、業界の存在感を高める取り組みを行ってきました。実際に大阪・関西万博やJAPAN BUILD TOKYOにも出展し、多くの方々と接する中でフィードバックや課題も頂きました。

これらの成果を踏まえ、今期は「需要創出の加速」「組織基盤の強化」「国際展開の深化」を柱として、畳の価値を現代社会に適合させながら、畳業界の持続的発展を目指します。

1. 市場調査と需要分析

市場の変化に的確に対応するためには、消費者ニーズの把握とそれに基づく戦略的な取り組みが不可欠です。新築住宅市場においては、和室の採用率が低下し続けていることから、設計事務所やハウスメーカーに対し、デザインや機能に優れた畳の提案を積極的に行い、現代の住空間にマッチした畳の在り方を提案します。

リフォーム市場においては、既存の和室を維持活用することが重要であり、畳替えの必要性や快適性の向上効果についての情報発信を強化します。また、置き畳やカラー畳など、洋風住宅にも順応する製品の提案を通じて、新たな需要の掘り起こしを目指します。

さらに訪日外国人の増加に伴うインバウンド市場にも着目し、畳製作体験や工場見学といった体験型コンテンツを企画し、海外への畳の発信強化と販売を試み、日本文化としての畳の認知向上に努めます。

販売促進事業「tata」については、これまでの実績を踏まえ、応募状況や地域特性の分析を進めることで、より効果的なキャンペーンへと進化させ、さらなる組合員の販売促進活動となるよう取り組みます。

2. 品質向上と技術の継承

畳の品質と信頼性を確保するためには、技術力の向上と標準化が不可欠です。品質管理責任者資格は本年4月に熊本県より更新セミナーがスタートし、約2年半をかけて各地で開催します。今回のセミナーでは品質管理に対する理解の底上げを推進することで、品質表示ラベル貼付の意義を今まで以上に認識頂き、消費者に対する品質の可視化と信頼性の向上を図り、安心して畳を選択いただける環境整備を進めます。

一方、(一財)ベターリビングによるBL認定制度につきましては、一昨年度より新畳の認定および対象範囲の拡大に向けて(一社)日本畳産業協会様と連携して臨んでおります。今期も引き続き、制度のスタートそして普及に向けて検討を重ねます。

畳製作技能士資格の取得促進は、畳業界の存続にも関わる重要な課題です。引き続き厚生労働省にも打診をさせて頂き、いかに検定受検者を増やすかについてを検討いたします。また業界全体の技能レベルの向上を図るためにも、現在制作中の技能教本の完成・販売と若手職人の育成を重要な課題として取り組みます。

3. 環境への配慮

畳は調湿性、断熱性、防音性などの優れた性能を有する、天然素材のい草を主原料とする極めて環境負荷の少ない建材です。近年の環境意識の高まりを踏まえ、こうした特性を積極的に発信し、エコ住宅や健康志向の住環境における畳の有用性を訴求します。

国産い草の需要維持・拡大に向けて、全国い産業連携協議会をはじめとする産地団体との連携を強化します。持続可能な資源循環の観点からも、畳の価値を再認識していただくための取り組みを(ワークショップや展示会・工場見学を交えて)推進します。

さらに、製造・施工過程における環境配慮や省資源化、リサイクルについても検討を進め、業界全体として持続可能な社会の実現に貢献します。

4. 広報活動

畳の魅力を広く伝えるためには、効果的な広報活動が不可欠です。PD事業を中心に、SNSでのショート動画やストーリーズなどの多様な手法を用いた情報発信を継続し、特に若年層への認知拡大を図ります。

大型商業施設や展示会、文化イベント等における体験型プロモーションを継続し、来場者が実際に畳に触れていただく機会の創出を図ります。

訪日外国人旅行者を対象とした空港や観光拠点での情報発信、体験プログラムの提供など、国際的な視点での広報活動を推進し、日本文化としての畳の普及に努めます。

5. 組合員支援

組合員の事業継続と発展を支援することは、組合の重要な使命です。見積書のひな型やソフトを配布することで、経費請求における請負価格の全国的な適正・標準化を推進します。

畳総合保険の安定運用を通じて、組合員および消費者に対する安心・安全の確保に努めるとともに、事故防止意識の向上を図ります。

以上の施策を総合的に推進することにより、畳業界の活性化と持続的発展を図るとともに、組合員の利益向上と畳文化の継承に寄与していきます。

II. 事業計画

1. 総務委員会

2024年10月から始まった（一財）ベターリビングの（仮称）畳基準検討ワーキンググループ会議もいよいよ大詰め段階になり、令和9年4月には基準が公表される予定です。

また本年3月には国土交通省の住生活基本計画が改定され、閣議決定されました。その中の「和の住まい」の推進では「畳」が取り上げられ、価値の再認識、伝統技術の継承と担い手育成などの振興、活性化の促進に向けた環境の整備が記されました。このように日本で再び畳が見直される要因が整ってきたことは、たまたみ振興議員連盟の先生方をはじめ他団体との連携を重視してきた、全日畳が今まで地道に取り組んで来た活動が大きく寄与しています。今後、さらに確実な成果とするためにも執行部・理事一同、課題に向けて取り組んでいきます。

2. 品質管理委員会

(1) 畳品質表示書（品質表示ラベル）の貼付促進

消費者が畳の情報や価値を受け取ることができる『安心が見える化』したラベルであるということを再認識していただき、お客様と畳店の信頼の証として、皆様に貼付のご協力をお願い申し上げます。貼付が面倒、というほんの小さな怠慢から、せっかくの制度の普及が伸び悩んでいます。「畳のお手入れハンドブック」も併用して、更なるお客様への安心を届けるようご協力をお願い申し上げます。

公共工事等のラベルにつきましては、記入手間を省く印刷済みと未記入の2パターンを用意していますので、引き続きご用命ください。

(2) 新畳のBL（ベターリビング）認定について

近く始まりますBL認定に向け、個々の畳店がその取り組みについてしっかりと認知し、活動に備えなければなりません。

BL認定される「新畳」の製作においては、同一事業所内に①畳製作技能士②品質管理責任者が常駐することが、認定の必須条件となる予定です。

BL認定畳に貼付するラベルにつきましても、技能士資格と品質管理責任者の両方の情報を1枚のラベルに表記する、新しいラベルを作成する方向で検討しています。

(3) 品質管理責任者資格の更新に向けて

4月21日の熊本県を皮切りに、今期から5年毎の品質管理責任者資格の更新セミナーがスタートします。各県での更新ですが、必ずしも県内資格者全員の有効期限が同じではありません。まだ数年有効期限が残っているという方もいらっしゃると思います。できればその方々も、在住の地区で行われる更新セミナーと一緒に受けて頂きたいと思えます。これは更新日を前倒ししても、次回5年後の更新日を揃えることで、後に時間と費用をかけて他県で更新される負担を軽

減するためです。各県の更新セミナー開催に当たっては、事務局より支部に対象者のリストをお送りします。

新たに品質管理責任者資格を取得したい場合、新規セミナー開催催行人数は10人以上となっています。今後、ブロック毎の範囲で集約して開催を計画したいと考えていますので、各県の支部と連絡を取り合いながら、新規セミナーの開催を実現していきます。

3. 事業委員会

(1) 昼総合保険について（対物上限50万円、保険料の改定）

当組合の昼総合保険は、お客様に安心と安全を提供し、信頼関係の構築を図ることを目的として運営しております。組合員の皆様には安全な作業環境の維持に一層ご協力いただき、事故や怪我の未然防止により保険制度の安定的な運営と継続的なサービス提供が維持できますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(2) 販売促進事業

全国昼替えキャンペーン「tata」について

これまで12回にわたり実施しました全国昼替えキャンペーン「tata」は、多くの皆様からご支持をいただき、着実に成果を積み重ねてきました。今期も「tata2026」の開催に向け準備を進めます。本キャンペーンは、組合員一人あたり6枚以上の応募ハガキの協賛により成り立っております。引き続き、本事業の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(3) 共同購買事業

ア. 抗カビ軟化剤 NKB193 ノーカービー

抗カビ軟化剤「NKB193 ノーカービー」は、2リットル・5リットルの業務用サイズに加え、お客様向けとして手軽にご利用いただける300mlタイプの3種類を販売しています。

イ. 昼のお手入れハンドブック

昼の納品時にお渡しいただける「昼のお手入れハンドブック」は、多くの皆様にご活用いただいております。巻末に仕様書を付した個人向けタイプと、仕様書のない業者向けタイプの2種類を販売しております。

(4) 広報事業

全日昼のホームページへのアクセス数向上を図るため、引き続きコンテンツの充実および積極的な情報発信に努めていきます。様々な意見を反映しながら、ウェブサイト、SNS、LINE公式アカウント等を活用し、定期的かつ効果的な情報発信を推進します。

また、著名な文化財や関係団体への昼の寄贈活動についても、日本の伝統文化である昼の魅力が大きく発信される利点を生かし、随時検討していきます。

さらに、海外に向けた畳の認知向上およびPR活動を進め、畳文化の普及と需要拡大を進めます。

全日畳HP内の会員ページの運用から数年が経過しました。セキュリティ強化の一環として、より安心・安全にご利用いただくため、近々パスワードの変更を実施させていただく予定です。変更の際には、事前に支部へご案内をいたします。

(5) PD (Planning Department)

- ・全国各地の組合員にとって今後の事業がいかにプラスとなるか
- ・業界の今そして今後に必要なことは何か
- ・一般消費者が畳に興味を持ち、魅力的に感じてもらうにはどうすればよいかなどを総合的に精査した結果、今期は以下の3つの企画を大きな柱として活動していくことになりました。

ア. イベント開催

今期は9月に愛知県イオンモール岡崎で、前期幕張でも行った同様のイベントを行います。日頃、畳に関心がないような方々にも実際に畳に触れていただくことで、まずは畳に対する認知度を高め、畳への理解と関心を深めてもらい、畳の需要を増やすことを目指します。

尚、PD主体で行うこのイベントは今限りとし、今後は全国各支部主導で行っていただけるよう、2年間で培ったノウハウをPDがアドバイス・協力していきます。

イ. オンラインセミナーの開催

前回のセミナー終了後に行ったアンケートで、要望の多かった分野についてのセミナー開催を予定しています。効果的な告知方法を検討して、これまで以上に多くの組合員が視聴できるように試みます。

ウ. SNS活用の継続

前期の後半から運営委託をしていましたInstagramとFacebookへの投稿は、委託期間が終了し、今後は再びPD運営にて投稿を継続していきます。若い世代が関心のある動画や実体験に基づいた内容の投稿をすることで、畳の魅力発信・畳の認知を目指します。また、活動報告をすることも全日畳の会員拡大につながると考えます。

PD発足から、間もなく5年を迎えようとしています。前期行いました幕張でのイベントがマイルストーンとなり、今後、全国各地での活動に波及していくことを願っています。今期愛知県イオンモール岡崎で行うイベントには、ぜひ地区代表者の皆様も足を運んでいただき、地元開催に向けてノウハウを持ち帰っていただきたいと思います。

「組合に入会していることに価値がある」と感じていただけるよう、全日畳のさらなる発展と畳業界全体の活性化に向けて、これまでにない新たなアプローチにも挑戦していきます。

つきましては、ぜひ皆様の地域の若手組合員の方々にPDの活動についてご紹介いただき、次期メンバーとしてご推薦いただけることをお待ちしております。

4. 技能推進委員会

海外からも注目される「日本文化」茶道や和装、華道等において、欠かすことのできない設えが「畳」です。

改定された国土交通省の住生活基本計画におきましても、天然いぐさ畳の五感に響く豊かさの提供が重要と記されました。その畳を製作する確かな技術は、今後更に重要になってくるはずです。

前期行いましたSNSの投稿動画の内、畳製作についての動画には17,000回を超える閲覧があり、世界中に「伝統のない草畳」の認知向上をPRできたものと感じています。作り手のクオリティーは畳のステータスを大きく押し上げる要因になります。今期も技能士資格の取得推進を進め、若手の育成と技能士発掘に努めていきます。

- (1) 畳製作工程「関東版」「関西版」のDVD販売は引き続き販売してまいります。是非ともご購入いただきまして、技能講習会、研究会、イベントなどでご活用いただくようお願いいたします。
- (2) 前期よりL型検定定規と携帯用の小指しキーホルダーの販売を開始しました。特にL型検定定規は従来の単価に比べ、かなり値打ちに抑えることができました。検定開催に必須なアイテムとして、ぜひ各地区で常備ください。
- (3) 技能士資質向上教材
YouTubeの「技～さらなる高みを目指して～畳製作」より「関東版」「関西版」の畳製作動画を視聴できます。全国各支部においてご活用いただき、若年者を中心に更なる技術の向上に努めていただきたいと思います。
また従来より取り組んでいます板入り畳技能教本につきましては、内容文章の校正作業も残りわずかとなり、早期の発刊に向けて取り組みを加速させます。

第5号議案

令和8年度予算（案）

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

(単位：円)

費用の部		収入の部	
I 事業費		I 事業収入	
品質表示事業費	500,000	品質表示事業収入	850,000
品質認定事業費	4,900,000	品質認定事業収入	8,250,000
教育情報事業費	2,200,000	教育情報事業収入	2,450,000
共同購買事業費	1,000,000	保険手数料収入	700,000
広報事業費	2,000,000	共同購買事業収入	1,300,000
畳販促事業費	3,200,000	畳販売促進事業収入	3,100,000
P D 事業費	800,000		
事業費合計	14,600,000	事業収入合計	16,650,000
II 一般管理費		II 賦課金収入	
役員報酬	2,500,000	組合費収入	13,712,000
雑給	2,500,000	組織賛助会費	1,350,000
法定福利費	200,000	特別賛助会費	870,000
福利厚生費	200,000	賦課金収入合計	15,932,000
会議費	1,300,000	III 事業外収益	
関係団体負担金	400,000	受取利息	2,000
旅費交通費	4,500,000	雑収入	11,000,000
通信費	450,000	事業外収入合計	11,002,000
器具備品費	450,000		
印刷費	250,000		
交際費	600,000		
支払地代家賃	4,500,000		
水道光熱費	300,000		
租税公課	10,000		
荷造運賃	350,000		
広告宣伝費	100,000		
支払手数料	3,900,000		
事務用品費	400,000		
雑費	300,000		
移転費用一式	5,200,000		
一般管理費合計	28,410,000		
III 事業外費用			
借入金利息	0		
予備費	574,000		
事業外費用合計	574,000		
合計	43,584,000	合計	43,584,000

第6号議案 令和8年度賦課金徴収方法等（案）承認の件

本組合の令和8年度賦課金および徴収方法は次の通りとする。

1. 組合費

組合員 $1,714名 \times 年間8,000円 / 名 = 13,712,000円$

今年度も無駄の無い支出に努めながら、健全かつ安定的な組織運営および活動を図るものです。徴収方法は、全日本畳事業協同組合の請求に基づき、単組ごとにまとめ、下記に定める組織賛助会費とともに本組合の指定する口座へ振込むものとします。振込手数料は各単組負担とします。

2. 賛助会費（支部およびその他）

(1) 賛助会員規約第2条(1)に定める支部組織等

会費 $45単組 \times 年間30,000円 = 1,350,000円$

(2) 上記（1）以外の法人又は個人等

会費 $29口 \times 年間30,000円 = 870,000円$

徴収方法は全日本畳事業協同組合の請求に基づき、賛助会員が本組合の指定する口座へ振込むものとします。

振込手数料は賛助会員負担とします。

3. 徴収時期

いずれも本組合の請求に基づき令和8年8月末までに支払うものとします。

4. 振込口座

りそな銀行 上野支店 普通預金 口座番号1334232

ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00160-0-158620

第7号議案 令和8年度における手数料、使用料の最高限度額（案）承認の件

手数料および使用料等は前記事業計画金額の40%を上限とする。

第8号議案 令和8年度組合借入金最高限度額（案）承認の件

借入金限度額 1,000万円以内とする。

借入先 りそな銀行・商工中金

第9号議案 役員報酬（案）承認の件

役員報酬の最高限度額は250万円以内とする。員外監事の報酬は15万円以内とする

第10号議案 次期総代会開催地決定の件

東京都内とする。

以上

役員名簿

(令和7年度)

敬称略

No.	役職	氏名	出身都道府県	担当
1	理事長	石河恒夫	岐阜県	代表(事務長兼任)
2	副理事長	佐々木誠喜	宮城県	
3	専務理事	大平雅章	三重県	品質管理委員会
4	理事	岡田暁夫	埼玉県	総務委員長
5	理事	佐々木京子	愛媛県	品質管理委員長
6	理事	的場貴之	滋賀県	事業委員長
7	理事	堀田登喜夫	山梨県	技能推進委員長
8	理事	南佳男	北海道	
9	理事	佐々木誠一	秋田県	
10	理事	半沢雅之	群馬県	
11	理事	砂川貴幸	神奈川県	技能推進委員会
12	理事	新井田智	新潟県	総務委員会
13	理事	中林政彦	富山県	
14	理事	磯垣昇	京都府	
15	理事	幸尻明浩	兵庫県	事業委員会
16	理事	甲斐靖彦	広島県	
17	理事	久保浩通	山口県	
18	理事	寺奥佳生	徳島県	
19	理事	荒木敏昭	長崎県	
20	理事	丸山雅光	宮崎県	
21	理事	安藤勝	鹿児島県	
22	理事	岩本久和	沖縄県	
1	相談役	藤本正	京都府	
2	相談役	米花俊明	広島県	

1	監事	鈴木卓夫	愛知県	監査
2	監事	谷口秀雄	和歌山県	監査
3	監事	富山晃	山形県	監査
4	員外監事	四方茂	東京都	監査

資料 1

2025年度組合費集計表・会員数集計表

2026年3月31日現在

No.	支部名	会員数	入会者	脱会者	支部賛助会費	組合費	合 計	会員数
		2025.4.1	期間中の変動		均等額	人数分		2026.3.31
						8000円/名		
1	北海道	44		7	30,000	352,000	382,000	37
2	青 森	27			30,000	216,000	246,000	27
3	岩 手	33		7	30,000	264,000	294,000	26
4	宮 城	58		11	30,000	464,000	494,000	47
5	秋 田	53		2	30,000	424,000	454,000	51
6	山 形	70		3	30,000	560,000	590,000	67
7	福 島	63	1	11	30,000	512,000	542,000	53
8	茨 城	83	2	8	30,000	680,000	710,000	77
9	栃 木	6		1	30,000	48,000	78,000	5
10	群 馬	39		2	30,000	312,000	342,000	37
11	埼 玉	17	1	1	30,000	144,000	174,000	17
12	千 葉	42	1		30,000	344,000	374,000	43
13	東 京	5			30,000	40,000	70,000	5
14	神奈川	34		4	30,000	272,000	302,000	30
15	新 潟	54	3	5	30,000	456,000	486,000	52
16	富 山	16		1	30,000	128,000	158,000	15
17	石 川	18			30,000	144,000	174,000	18
18	山 梨	47		3	30,000	376,000	406,000	44
19	岐 阜	39		2	30,000	312,000	342,000	37
20	静 岡	81		9	30,000	648,000	678,000	72
21	愛 知	97		5	30,000	776,000	806,000	92
22	三 重	15	2		30,000	136,000	166,000	17
23	滋 賀	20	2	1	30,000	176,000	206,000	21
24	京 都	67		19	30,000	536,000	566,000	48
25	大 阪	59	1	0	30,000	480,000	510,000	60
26	兵 庫	39		1	30,000	312,000	342,000	38
27	奈 良	16			30,000	128,000	158,000	16
28	和歌山	31		3	30,000	248,000	278,000	28
29	鳥 取	14		1	30,000	112,000	142,000	13
30	島 根	13			30,000	104,000	134,000	13
31	岡 山	41		4	30,000	328,000	358,000	37
32	広 島	55		7	30,000	440,000	470,000	48
33	山 口	49		2	30,000	392,000	422,000	47
34	徳 島	41		2	30,000	328,000	358,000	39
35	香 川	14			30,000	112,000	142,000	14
36	愛 媛	34			30,000	272,000	302,000	34
37	高 知	12		1	30,000	96,000	126,000	11
38	福 岡	63	1	1	30,000	512,000	542,000	63
39	佐 賀	21		3	30,000	168,000	198,000	18
40	長 崎	58		3	30,000	464,000	494,000	55
41	熊 本	72		5	30,000	576,000	606,000	67
42	大 分	33		3	30,000	264,000	294,000	30
43	宮 崎	37		1	30,000	296,000	326,000	36
44	鹿児島	57	1	1	30,000	464,000	494,000	57
45	沖 縄	53	1	2	30,000	432,000	462,000	52
46	宮城床	7		7	30,000	56,000	86,000	0
合 計		1,847	16	149	1,380,000	14,904,000	16,284,000	1,714

資料 2

賛助会員

企業名	口数	金額
アゼアス株式会社	1口	30,000
押出発砲ポリスチレン工業会	5口	150,000
株式会社カンベ	1口	30,000
KLASS株式会社	3口	90,000
CSK株式会社	1口	30,000
正文社印刷株式会社	1口	30,000
DAIKEN株式会社	1口	30,000
高田織物株式会社	1口	30,000
タタミでおもてなしプロジェクト	1口	30,000
東海機器工業株式会社	3口	90,000
有限会社東海保険センター	3口	90,000
株式会社トクラ	1口	30,000
トクラテック株式会社	1口	30,000
日本繊維板工業会	2口	60,000
軒村政春畳店	1口	30,000
丸三製紙株式会社	1口	30,000
山中産業株式会社 大阪	1口	30,000
山中産業株式会社 東京	1口	30,000
合 計	29口	870,000

資料 3

2025年度
品質表示事業実績

2026年3月31日現在

No.	支部分名	わら床用 (枚)	建材床用 (枚)	加工用 (枚)	2点 シール (組)	品質規格ラベル (工事用)		合 計
						印刷あり (シート)	印刷なし (シート)	
1	北海道							
2	青 森							
3	岩 手							
4	宮 城							
5	秋 田							
6	山 形							
7	福 島			2,150				2,150
8	茨 城							
9	栃 木							
10	群 馬							
11	埼 玉							
12	千 葉							
13	東 京							
14	神奈川							
15	新 潟							
16	富 山							
17	石 川		1,000					1,000
18	山 梨							
19	岐 阜				1,000			1,000
20	静 岡							
21	愛 知			7,500	50			7,550
22	三 重							
23	滋 賀							
24	京 都					86		86
25	大 阪			1,270				1,270
26	兵 庫		1,000	1,330		448		2,778
27	奈 良							
28	和歌山							
29	鳥 取				100			100
30	鳥 根		2,000		600			2,600
31	岡 山							
32	広 島			3,000				3,000
33	山 口	100						100
34	徳 島		1,600					1,600
35	香 川							
36	愛 媛							
37	高 知							
38	福 岡		5,000	200				5,200
39	佐 賀			3,000				3,000
40	長 崎							
41	熊 本	7,000		9,000				16,000
42	大 分							
43	宮 崎	500		4,500				5,000
44	鹿 児 島	1,000		14,500				15,500
45	沖 縄		3,000					3,000
46	宮城床	500						500
合 計		9,100	13,600	46,450	1,750	534	0	71,434

資料4 2025年度共同購買および豊販促事業販売実績

2026年3月31日現在

No.	支部名	共同購買事業						豊販促事業		
		NKB193			豊ハンドブック		(新)検定用 L型定規 (個)	小物差し キーホルダー (個)	tataはがき (枚)	tataのぼり (枚)
		5ℓ (箱)	2ℓ (箱)	300ml (本)	仕様書あり (冊)	仕様書なし (冊)				
1	北海道						2			
2	青森							180	6	
3	岩手							7	2	
4	宮城	6						15	600	
5	秋田								318	
6	山形	1							440	
7	福島								442	
8	茨城	2							475	
9	栃木									
10	群馬	1							300	
11	埼玉	8							210	
12	千葉				500	50			514	
13	東京								190	
14	神奈川							7	60	
15	新潟	6				100	4	10	750	
16	富山						1	5	140	
17	石川								100	
18	山梨				250	100			1,161	
19	岐阜	1						11	350	
20	静岡								217	
21	愛知	2							203	
22	三重								297	
23	滋賀						1		130	
24	京都	1							211	
25	大阪								170	
26	兵庫						2		71	
27	奈良									
28	和歌山	2							380	
29	鳥取	6							230	
30	島根									
31	岡山	3							320	
32	広島						1	2	235	
33	山口	2				1,000			330	
34	徳島			17					246	
35	香川									
36	愛媛				20	80	1	12	220	
37	高知								104	
38	福岡	6			50				200	
39	佐賀	4				600			204	
40	長崎	3						5	380	
41	熊本					800	1			
42	大分									
43	宮崎						2	47	50	
44	鹿児島	1							178	
45	沖縄	5							210	
46	宮城床									
合計		60	0	17	820	2,730	15	121	11,044	48

資料5

畳総合保険加入者数一覧表

2026年3月31日現在

No.	支部名	2025年度 加入者数	2026年度 加入者数
1	北海道	9	9
2	青森	23	17
3	岩手	13	14
4	宮城	39	30
5	秋田	27	27
6	山形	37	36
7	福島	44	36
8	茨城	57	53
9	栃木	0	0
10	群馬	33	33
11	埼玉	16	15
12	千葉	34	32
13	東京	5	5
14	神奈川	0	0
15	新潟	15	15
16	富山	11	12
17	石川	6	8
18	山梨	21	20
19	岐阜	26	24
20	静岡	44	37
21	愛知	65	62
22	三重	15	16
23	滋賀	14	12
24	京都	37	34
25	大阪	38	37
26	兵庫	23	23
27	奈良	12	11
28	和歌山	20	18
29	鳥取	11	11
30	島根	12	12
31	岡山	21	20
32	広島	28	27
33	山口	37	34
34	徳島	27	26
35	香川	0	0
36	愛媛	22	23
37	高知	12	11
38	福岡	39	39
39	佐賀	15	11
40	長崎	25	21
41	熊本	49	48
42	大分	28	26
43	宮崎	32	30
44	鹿児島	35	33
45	沖縄	28	28
46	宮城床	0	0
合計		1,105	1,036

全化協1名含まず

資料6

2025年度事故支払事例

No.	支部	被害物	支払保険金	状況
1	島根	テレビ	¥40,670	引き取り時 家具移動中事故
2	福島	下駄箱	¥17,000	納入時 事故
3	京都	壁	¥170,500	搬入・搬出時 畳接触事故
4	埼玉	ピアノ	¥767,200	採寸時 家具移動中事故
5	福岡	天井	¥118,024	搬入・搬出時 事故
6	千葉	証明	¥30,200	搬入・搬出時 畳接触事故
7	静岡	障子・ガラス	¥11,500	搬入・搬出時 畳接触事故
8	鹿児島	床柱	¥14,800	納入時 事故
9	愛知	襖	¥24,700	敷き込み時・接触事故
10	山形	床	¥22,500	納入時 事故
11	茨城	壁	¥66,500	搬入・搬出時 畳接触事故
12	愛知	天井	¥31,300	移動時 畳接触事故
13	埼玉	襖	¥58,256	搬入・搬出時 事故
14	京都	サッシ	¥47,800	搬入・搬出時 事故
15	山形	障子戸	¥43,265	納入時 畳接触事故
16	広島	防災ガラス	¥85,860	搬入・搬出時 畳接触事故
17	島根	畳	¥114,550	仕事引き受け時事故
18	滋賀	ワイングラス	¥28,000	敷き込み時 家具移動事故
19	石川	畳	¥175,000	火災による賠償事故
20	山口	外壁	¥61,550	搬入・搬出時 畳接触事故
21	鳥取	テレビ・壁	¥116,014	搬入・搬出時 家具移動事故
22	群馬	床	¥105,000	敷き込み時 事故
23	茨城	ベッド	¥153,700	搬入・搬出時 家具移動事故
24	長崎	床下点検口他	¥193,000	敷き込み時 事故
25	秋田	襖	¥103,680	搬入・搬出時 畳接触事故

資料 7

2025年度売掛金残高

令和8年3月31日

単位：円

支部名	繰越
北海道	
青森	
岩手	
宮城	
秋田	
山形	
福島	
茨城	
栃木	
群馬	
埼玉	60,656
千葉	
東京都	
神奈川県	
新潟	
富山	
石川	8,767
山梨	
岐阜	
静岡県	
愛知	
三重	
滋賀	5,720
京都	
大阪	
兵庫	
奈良	
和歌山	
鳥取	
島根	
岡山	
広島	
山口	
徳島	
香川	
愛媛	
高知	
福岡	46,848
佐賀	
長崎	
熊本	6,150
大分	
宮崎	
鹿児島	
沖縄	
宮城	
合計	128,141

資料 8

棚卸資産表

令和8年3月31日

単位：円

【品質表示証紙】

品目	在庫	金額
わら床用	27,580	69,777 *
建材床用	34,720	87,842 *
加工用	25,280	52,835 *
2点シール	5,014	82,731 *
品質規格表示ラベル（工所用）	6,050	19,300 *
合計		312,485 *

(* 1円未満の端数は四捨五入)

【販促キャンペーン】

品目	在庫	金額
tataのぼり	82	51,234

【共同購買事業】

品目	在庫	金額
アルミ製標識	20	18,260
カビ・ダニ マニュアル	1,600	182,512 *
NKB 193 300ml	352	199,795
NKB 193 2ℓ	16	136,858
NKB 193 5ℓ	52	528,185
イグサ枕	3	10,560
畳ハンドブック	6,442	46,769 *
(新) 検定用L定規	35	123,200
小物差しキーホルダー	79	36,498
合計		1,282,637

(* 1円未満の端数は四捨五入)

【教育情報事業】

品目	在庫	金額
衝撃緩和畳床パンフ	885	9,283 *
DVD	42	25,087
合計		34,370

(* 1円未満の端数は四捨五入)

【用度品】

品目	在庫	金額
切手・はがき		8,959
レターパック	12	7,200
レターパックライト	2	860
スマートレター	8	1,680
合計		18,699

【合計】

	金額
棚卸資産	1,699,425

第24回 通常総代会資料

全日本畳事業協同組合

〒110-0005 東京都台東区上野3-4-6 岩上ビル
ホームページ <https://www.tatami.or.jp>

令和8年6月8日
全日本豊事業協同組合

第24回通常総代会追加議案

第11号議案 その他 組合事務所移転の件

本組合の事務所を千代田区に移転する。
移転完了日は令和8年9月末日までとする。

以上

正誤表

総代会資料 P32 「資料2 賛助会員」

誤) 表中 押出発砲ポリスチレン工業会
正) 表中 押出発泡ポリスチレン工業会